

NY屋台村「スモーガスバーグ」、さいたま新都心で開催

2018/9/20 16:37 | 日本経済新聞 電子版

さいたま市のJRさいたま新都心駅近くで22～24日、国内外の飲食店が集まる野外フードマーケットが開かれる。米最大の屋台村とされるニューヨーク・ブルックリンの「スモーガスバーグ」をコンセプトとした催しで、和食やイタリアン、スペイン料理など約60店が出店。特色のある料理を気軽に食べ比べることができる。

同駅東側の三菱マテリアル跡地で開く。東京・銀座のフランス料理店「マルディグラ」など国内の人気店のほか、ニューヨークで話題のアイスクリーム店やハンバーガー店なども出店する。入場料は1日500円で、小学生以下は無料。

スモーガスバーグはブルックリンで毎週末開いている移動型の屋台村。国内では2017年に大阪市内で初めて開かれ、3日間で約2万5000人が訪れた。さいたま新都心の会場は再開発で1000戸を超える大型マンションの建設が予定されており、事業主の東京建物や住友不動産などもイベントに協賛して地域の魅力を発信する。



本場のブルックリンでは毎週末、大勢の客でにぎわう（ニューヨークでの様子）

許諾番号30065648 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。